# moritoie.net

森と暮らす まちを育む 森とイエ

森とイエ通信 Vol.03 2014.12

## ＊南雄三さん御一行様が「森とイエ」を見学＊

初秋の10月4,5日、住宅技術評論家の南雄三さん率いる「南雄三軍団」のみなさんが「ソトダン21」の主催で下川へいらっしゃいました。総勢49名！という大所帯で、五味温泉とエコハウスは貸しきり。さらに驚いたのは、南は九州唐津から四国、中部地域、関東からはるばる集結されたとのこと。北海道の建築に興味をもって下さった大勢の方々が大きなバスで到着したところはまさに軍団でした。

懇親会では森とイエメンバーと交流。森とイエや下川の先進的な取り組みへの関心の高さに私たちも大変刺激を受け、遅くまで熱心な質問や議論が飛び交いました。翌日、森林組合の工場や、一の橋のバイオビレッジ、森とイエプロジェクトの住宅を見学、地域の森が地域の方々によって地域の為に使われている現場の断片を見ていただきました。

ご協力いただいたみなさまどうもありがとうございました！（櫻井）

## Japan Home & Building Showで「森とイエ」をPR！

11月12日～14日の３日間、東京ビッグサイトで開催された「JapanHome＆BuildingShow」。住宅に係る建材や部材の大展示会なのですが、そこの北海道ブースにて、事務局の相馬＆苅谷コンビが「森とイエ」をＰＲして参りましたよ。

3日間で3万2千人の来場者があったそうです。森とイエの仕組みももちろんですが、北国での豊かな生活や資源がもっと全国に認知されるといいなぁと思います。お二人ともお疲れ様でした！（新海）

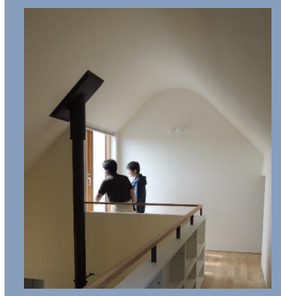
## T-HOUSE＊完成見学会 in 天塩

9月23日、天塩町にてT-HOUSEの見学会が開催されました。

大きな三角屋根がとても印象的なT-HOUSE。中もとんがっているのかなと思いきや、カーブを描いた天井だったり、小さな窓や隠れ家のようなスペースがあちこちにあったりと、わくわくするところがたくさん。あちこちから「わぁ～」とか「へぇ～」という声が聞こえて来ていたので、参加頂いた皆さんも同じ気持だったのではと思います。

何より、子供たちがが走り回ったり、かくれんぼしている姿が本当に楽しそうで、見ているこちらも「素敵なお家ができて良かったね！」とほのぼのとしました。

座談会では、家が完成するまでのオーナーの気持ちや、建築家のこだわり、工務店の思いなどが語られました。一緒につくり上げていく中で、苦心されたこと、良かったと思ったこと、驚いたこと…皆さんの素直な気持ちを聞きながら、「家を建てる」ということの奥深さ、関わる側としての姿勢を改めて考えさせられたりと、学ぶところの多い見学会となりました。（新海）



## NK-HOUSE＊完成見学会 in 下川

すっかり秋らしくなってきた10月4日。NK-HOUSEの完成見学会へお越しいただきました皆様、大変ありがとうございました。当日は、期待以上の大勢の方々にお越しいただき、コンパクトなNK-HOUSEの中ももうイッパイイッパイ。それでも40名近くの方々をお迎えできるNK-HOUSEのフトコロの深さは、ちょっとすごい。

全体サイズの割には、大きな土間スペースを持ったNK-HOUSE。お客様を迎え入れられるのも、このスペースがあるからなのですが、「ストーブ一台で快適な室内環境を実現する」という技術目標の大変重要な役割を担っているスペースでもあります。「局所暖房の熱源設置位置であり、その熱の蓄熱部として機能し、また循環空気を一時的に滞留させ・・・・」と、なかなかなものです。

後日、引越後伺ったらロッキングチェアが置かれて、なんだか良いスペースになっています。早速住みこなすなんてさすがですね。これからのNK-HOUSEの成長が楽しみです。（中舘）

## やっぱりみんな笑顔 2/2

「森とイエ」第１号オーナーの妻 川島 里美

徐々に具体的な家づくりの打ち合わせになっていくのだが、我が家のお施主様は夫なので、本流の決めごとはすべて夫まかせである。これが完成まで続くため、私はお気楽な施主の妻として、自分の好きな分野にだけ口を出すという楽しい家づくりイベントを満喫することになる。

しかしながら、お施主様というのはかなり気合を入れないと乗り切れないのである。もともと夫の集中力の高さには感心していたが、今回の家づくりではすさまじいほどの集中力を発揮した。打ち合わせのたびに出される建築家からの宿題、しかし、施主の要望が設計図、そして模型になった時は感動である。建築家は家に対する希望をすべて言ってくださいというものだから、できあがった設計図はすばらしいが当然価格的にはとんでもないことになる。

だけども、ここからが建築家のすごいところ。私たちになりきって生活空間を組み立てていくので、どうしてもはずせないところ、これは無駄なところと、そいだりしていくと、「そうそう、こんな家が欲しかったのよ。」となっていくのである。

建築家と何度も話していくうちに、自分達の暮らし方が明確になってくるのもおもしろかった。私たちの潜在意識までも引き出し、それを形にしていく建築家に私はいつも感嘆するばかり。

また、建築家が施主の思いを最大限生かした提案を可能な限り受け入れていた施主、これはある意味男同士の信頼関係の上に成り立つ仕事であり、見ているほうも気持よく、次はどうなるの？と続きが気になるドラマをみているようだった。

建築過程で何度かトラブルに直面することもあったけれど、工務店と施主の間に建築家がいたことでストレスを感じることなく問題解決できたし、建築家がトータルデザインをしてくれているので分厚いカタログから壁紙を選ぶというような途方もない時間を費やすことがなかったのもありがたかった。

なにはともあれ、私たちの家、「森とイエ」１号の家は誰一人欠けてもできなかったであろう素晴らしい家（自賛ですが）が完成した。

建築家コースでの家づくりを誰もが楽しめるかというと、そこはなんとも言えないが、我が家は初めて森とイエの話を聞いてから１年もの間、ぜいたくな家づくりイベントを体験させてもらったと思っている。

その後、友人たちが「森とイエ」２号、３号と続き、現在は5号までが完成した。

今後、家づくりを考えている人は、下川町内で「森とイエ」の住宅を見ることができるようになったのもすばらしいことだと思っている。しかも、この２年の間に３人の建築家の作品が揃ったのである。

個々、家づくりに対する思いの違いはあるだろうけど、下川の自然や環境に寄り添った暮らしを最大限引き出してくれ、完成後も顔の見える関係が続く、「森とイエ」の住宅づくりは小さな田舎からの大きな贈り物である。

「森とイエ」で暮らし始めた家族に会ってみたら、やっぱりみんな笑顔。

完